

一代限りの命を見守る活動

飼い主のいない猫との共生

右耳にV字のカットが入っている猫は、不妊・去勢手術を施した、飼い主のいない猫です。

区では、ボランティアの皆さんにご協力いただき、適正な活動のもとで、飼い主のいない猫との「共生」を目指しています。

飼い主がいない猫の寿命は、3～5年といわれています。

繁殖を制御しながら、一代限りの命を地域で見守る活動に、ご理解・ご協力をお願いします。

問合せ 生活衛生課 ☎内線422

増加した理由・対策

猫は、年間2回程度、一度に2～8匹を出産するほど繁殖力の強い動物です。捨て猫・迷い猫・屋外飼育の猫等の繁殖により、増加したことが考えられます。

愛護動物である猫は、殺処分や遺棄を目的とした捕獲は法律で禁止されています。そのため、不妊・去勢処置で繁殖を抑制することが、増加への最も効果的な対策となります。

問題点

飼い主がいない猫が増えると、排せつ物による不衛生な状態や、猫の鳴き声による騒音問題が、地域の問題となります。また、無責任な餌やりは、カラス・ハエ・悪臭等を発生させ、生活環境や地域の人間関係を悪化させます。

許可を得ていない場所での無責任な餌やりは、絶対にやめてください。

ボランティア団体の活動にご理解・ご協力を

区に登録がある51のボランティア団体は、飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術を施して地域に戻し、許可を得た場所で、餌やりや排せつ物・食べ残した餌の清掃等を行っています。

これまでに、荒川区獣医師会からも協力を得て、3000頭以上の猫に不妊・去勢手術を施しました。

手術済みの猫は、右耳の上部1cm程度をV字カットして目印とし、再捕獲を防いでいます。

現在、区内のボランティア団体の活動範囲は、荒川区全体の面積の約2割程度です。

区では、ボランティアを随時募集しています。詳細は、お問い合わせください。